

2020～2021年度のテレビ、ラジオ営業収入見通し

～V字回復は困難も底割れは回避へ～

要 約

1. テレビー2020年度は17.6%減。スポット22.5%減、タイム11.1%減。

2020年度のテレビ営業収入は、年初予測の1.1%減から17.6%減へ下方修正。東阪名0.8%減→17.0%減、ローカル1.8%減→19.7%減、独立局2.1%減→13.7%減。うちスポットはテレビ全体で2.2%減→22.5%減、東阪名2.3%減→22.3%減、ローカル2.1%減→22.8%減、独立局1.6%減→16.2%減。タイムは全体で0.9%減→11.1%減、東阪名0.5%減→10.4%減、ローカル1.6%減→12.5%減、独立局2.5%減→12.2%減。営業収入合計、スポットとも東阪名、ローカルともに下期のマイナス幅は上期より特にスポットで縮小する。

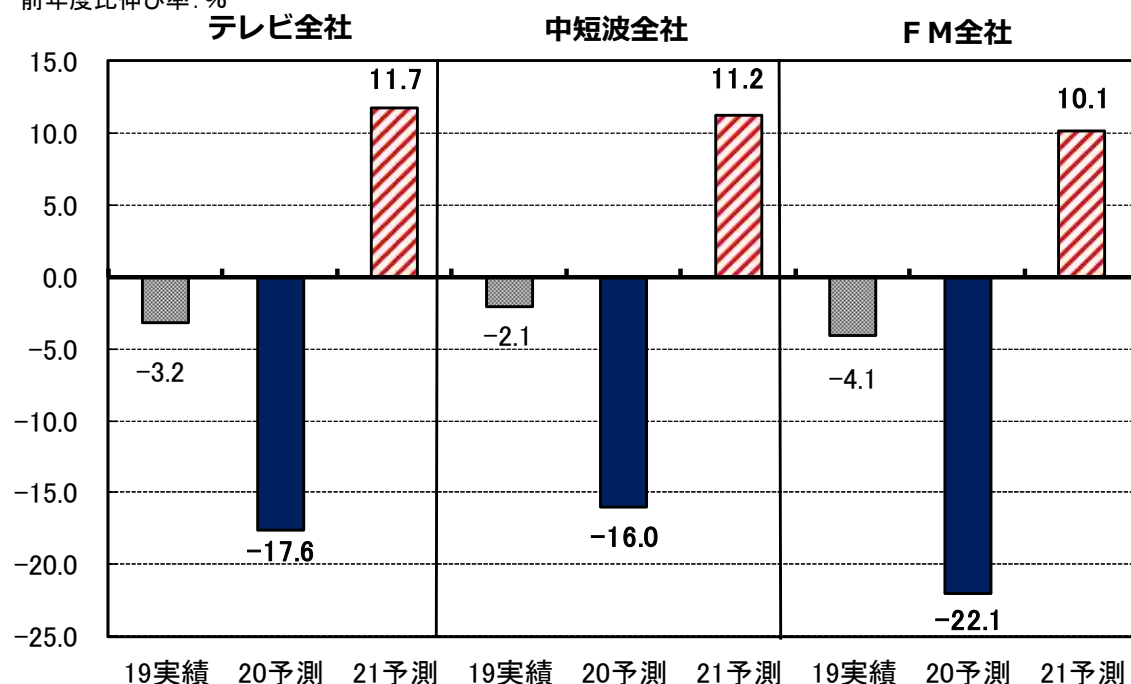
現時点での2021年度の予測は、全社のテレビ営業収入11.7%増、東阪名12.6%増、ローカル10.6%増。スポットは全体で16.1%増と予測。2ケタ増も20年度のマイナス分をカバーできない。その他事業収入の本格回復は22年度以降か。

2. ラジオー2020度は18.6%減。スポット21.1%減、タイム13.3%減。

2020年度のラジオ営業収入は、年初予測の1.1%減から18.6%減に下方修正。中短波1.3%減→16.0%減、FM0.9%減→22.1%減。スポットはラジオ全体で年初予測の2.2%減から21.1%減に。中短波3.2%減→21.1%減、FM1.3%減→21.2%減。タイムはラジオ全体で0.6%減→13.3%減、中短波1.2%減→12.7%減、FM0.1%増→14.2%減。営業収入合計、スポットとも中短波、FMともに下期のマイナス幅は上期より縮小する。

現時点での2021年度の予測は、全社のラジオ営業収入10.7%増、中短波11.2%増、FM10.1%増。スポットは全体で13.0%増と予測。

前年度比伸び率：%



○テレビ営業収入

テレビ営業収入					
前年同期比伸び率 (%)	19年度 (実績)	2020年度(予測)		2021年度 (予測)	
		上期	下期		
営業収入計	-3.2	-17.6	-21.0	-14.4	11.7
東阪名15局	-3.4	-17.0	-20.0	-14.0	12.6
ローカル・ネットワーク局	-2.5	-19.7	-24.1	-15.4	10.6
スポット計	-6.0	-22.5	-29.6	-15.8	16.1
東阪名15局	-6.4	-22.3	-29.7	-15.4	16.6
ローカル・ネットワーク局	-5.2	-22.8	-29.5	-16.4	15.1

注)衛星系を除く。

○ラジオ営業収入

ラジオ営業収入					
前年同期比伸び率 (%)	19年度 (実績)	2020年度(予測)		2021年度 (予測)	
		上期	下期		
営業収入計	-3.0	-18.6	-21.2	-16.0	10.7
中波・短波	-2.1	-16.0	-18.0	-13.9	11.2
FM	-4.1	-22.1	-25.3	-18.7	10.1
スポット計	-3.7	-21.1	-23.9	-18.3	13.0
中波・短波	-5.9	-21.1	-24.4	-17.7	13.0
FM	-1.4	-21.2	-23.4	-19.0	13.0

注)衛星系、コミュニティ放送を除く。